



高円寺の双龍の鳥居



JR の駅名になっている「高円寺」には以前から関心があり、何度もその門をくぐったことがある。緑多い庭を抱えた端正なたたずまいの曹洞宗寺院に納得して拝礼していたのだが、なぜか心の中でいまひとつ物足りなさを感じていた。地元詳しい委員から双龍鳥居のことを聞き、興味が膨れ、改めて境内を散策してみた。本殿の隣に稲荷社があり、鳥居の左右の柱に龍が彫り込まれていた。左が上り龍で、右は下り龍。躍動的な姿に感嘆。上り龍は願いを神に届け、下り龍がそのお告げを持ってくるとい

う。

この伽藍には、インド<仏教>中国<曹洞宗・龍>日本<稲荷神社>という異なる文化が混然一体となって調和を見せている。中国・武漢で発生の新型コロナウイルスで我々は悩まされ呻吟しているが、早く克服して、この寺院のようにアジアとの共生を図り、調和と繁栄を願ってやまない。

この鳥居の双龍製作者は田中西蔵という方で、馬橋稲荷神社の鳥居の双龍も手掛けている。馬橋稲荷の方が雄大で見る者を圧倒する迫力があるという。

こちらもいつか訪ねたいと思う。馬橋稲荷では何を祈ろうか。

とにかく、いまは新型コロナウイルス感染症の終息と、協議会活動の再開を祈るばかりである。